

メコン川の浚渫土を有効利用！ ベトナム政府高官が中小企業の技術を視察

太洋基礎工業株式会社（名古屋市中川区、加藤行正代表取締役社長）は、ベトナム国においてこれまで廃棄されてきた河川の掘削泥土を盛土材に改良して有効利用する「掘削泥土再利用システム工法」の導入に向け、独立行政法人国際協力機構（JICA）の「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」を実施しています。ベトナム国では洪水対策として堤防及び管理道路の整備事業が進められているものの、盛土材の不足から材料費が高騰し、工事の遅延が喫緊の課題となっています。また、運河・水路改修を行う際に掘削した泥土を廃棄処理しているため、環境問題や泥土運搬・処理コストにも課題を抱えています。本システムの導入により、早期の堤防整備、廃棄泥土による環境負荷低減への貢献が期待されています。

本案件化調査の一環として、同社は、10月29日（月）から、ベトナム国交通運輸省や内陸水路局上級職員3名を日本へ招聘し、視察・研修を通じ、「掘削泥土再利用システム工法」のさらなる理解向上を図ります。

来日中の取材可能日は以下のとおりです。取材をぜひご検討ください。



【掘削泥土再利用システム】



【現地試料土採取の様子】

日付	内容	場所
10/29(月)	午前 午後 太洋基礎工業(株)本社訪問 管路処理システム視察	太洋基礎工業(株)本社(名古屋市中川区) 太洋基礎工業(株)神守研究開発センター (愛知県津島市)
11/1(木)	午後 管路処理システム デモンストレーション視察	(株)KG フローテクノ機材センター (千葉県野田市)

取材を希望される場合は事前に下記までご連絡をお願いします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 連携推進課 担当：木村

TEL : 052-533-1387 E-mail : Kimura.Yuri@jica.go.jp